

朝寒や紙をくしやこつとする音も

小池康生

四季 長谷川 權



白い息

紙くずを丸める。紙と空気のたてるあの乾いた音に今朝の寒さを感じた。日本人は古くから音に季節を感じてきた。風鈴の音に涼しさを、風の音に秋の訪れをというふうだ。朝寒は晩秋の寒さを表す一連の季語の一つ。句集『奎星』から。